

2024年度共同利用研究報告書

2025年03月21日

所属・職名 東京科学大学 工学院・准教授

小林 健

		整理番号	2024a032	
1.研究計画題目	反実仮想説明の実用化に向けた研究			
2.新規・継続	新規			
3.種別	若手・学生研究			
4.種目	短期共同研究			
5.開催方法	対面開催			
6.研究代表者	氏名	小林 健		
	所属 部局名	東京科学大学 工学院	職名	准教授
7.研究実施期間	2024年09月24日(火曜日)～2024年09月27日(金曜日)			
	2024年12月16日(月曜日)～2024年12月16日(月曜日)			
8.キーワード	説明可能な機械学習, 反実仮想説明, 数理最適化			
9.参加者人数	21人			

10.本研究で得られた成果の概要

本研究課題では, 反実仮想説明の実用化に際して考慮すべき課題を検討し, 新たな研究課題の創出につながった. 当初は反実仮想説明として提示されるアクションが現実で実行可能か, またアクションの実行後に望ましい予測結果が得られるかに焦点を当てる計画であった. しかし研究会での議論を通じて, 反実仮想説明の本来の目的は単に予測モデルの出力を変更することではなく, ユーザの実際の状況を改善するアクションを提示することであるという認識が得られた. この視点に立つことで, 従来の反実仮想説明法を実運用した場合に直面する課題が浮上し, それらを克服するための新たな反実仮想説明手法を検討することが可能となった.

報告書は2028年4月に公開予定